

インドマザーテレサボランティアとホームステイプログラム

参加期間

2013年2月19日～3月13日3週間

参加動機

「死を待つ人の家」に行ってみたかった。でも、初の個人旅行でインドにひとりで行ける自信がなかったため、方法を探しているときに CEC のプログラムを見つけて申し込んだ。

ホームステイ滞在に関して

家族構成	お父さん お母さん
ペット	無
食事	おいしかった
生活形態（日本での生活と較べて異なる点、注意点など）	
<ul style="list-style-type: none">● ほかのレポートにもありますが、夕飯は遅いです。私のところは英語のレッスンを終わってから食事で、8:00～9:00の間でした。でも、家族は9:00以降に食べていることが多かったです。● 私のステイ先には洗濯機も冷蔵庫も電子レンジもあり、さらに専用シャワーとトイレもあったので、何不自由なく過ごせました。ただ、Hot Showerはなかったため、一週目はそれがきつかったです(Familyに言えば、お湯はもらえるとします。私は遠慮して言わなかったため…)● 朝の5:00から近所のお寺でお勤め(?)が始まります。少しうるさかったけど、起きる時間だったのでちょうどよかったです。	
感想	
<ul style="list-style-type: none">● Host Familyはむちゃくちゃ優しい方でした。常に私が快適に過ごせるように気を配ってくださいました。お掃除も、ボランティアに行っている時間に毎日してくださっていて、ホームステイだけホテル並みのホスピタリティを受けていました。● コミュニケーションも積極的にとってくださいろうとしていらっしゃいました。しかし、こちらにそれほどの英語力がなかったため、沈黙もしばしば…それが申し訳なかった!!● ステイ先のお父さんが洗濯をしてくれる(マシーンを使って)のですが…取り出しもやってくれたので下着はちょっと恥ずかしかった。それ以降は自分でしていました(なんで使わないの??とは言われましたがうまく答えられなかった。また、Kalighatに行っていたため、感染症等をFamilyに移したくないという気持ちもあって。)	

ボランティア活動に関して

カリガート（死を待つ人々の家）

活動内容と感想（活動期間、回数、時間等も併せてご記入下さい。）

- まず行くと洗濯から始まり、終わり次第患者さんとのコミュニケーションとなります。Kalighatでは基本的に男性は男性、女性は女性が介助するので、私は女性のフロアにしか入っていませんが、肌や髪にローションを塗ったり、座ってお話を聞いたりと言うのが主なコミュニケーションでした。男性の方では、ひげそり等もしていたようです。また、看護師などの資格を持っている方のみ、傷の手当等も行っていたようでした。

- エクササイズの時もあり、患者さんに歩いてもらっていました。スペイン人のボランティアさんが歌を歌って盛り上げていたので、それに便乗して踊りながら歩いていました笑。患者さん以上に、インド人のワーカーさんが面白がってくれました。
- それが終わると休憩。Thai とバナナとビスケットをいただきます(たまにポテトも出ました!!) この時間はぺちゃくちゃ みんなとおしゃべりでした。
- 休憩後は患者さんの昼食の配ぜんや片づけ、乾いた洗濯物を取り込んでたたむという作業を同時並行でやります。終わった順に帰っていました。
- 活動時間は 8:00~12:00。ただし Mother House に集まってから行くと、スタートは 8:15~8:30 くらいになります(バスで移動するので、その日の道の混み具合による)私は滞在中は 2 回だけ休みましたが、それ以外は毎日行っていました。また午後は 15:00~18:00 とのこと。私は行っていませんが、同様のことをしていたとほかのボランティアから聞きました。
- 8:30 からは朝のお祈りの時間みたいなものがあります。また、日曜の 10:00 からはミサがあります。どちらもできるだけ参加してほしいとのことでした。
- 思ったよりも元気な患者の方が多く印象を受けました。でも、患者さんにはどの方にも悲しい過去があることを知り、どう接していくかは常に迷いながら活動していました。自分にできることは精いっぱいやってきましたが、貧困、障がい、老齢などの様々なリスクを抱えている患者さんに自分は何ができたろうとも思います。単なる体験だけでは終わらない貴重な時を過ごさせてもらいました。日本に帰って来てからも、常に彼女たちのことは考え続けていこうと思いました。
- また、これとは別に Titaghar(たぶん地名。施設名はわかりませんでした。)というハンセン病患者のための施設の見学に行きました。(木曜日に不定期に行われている活動のようです。Mother House のボランティアルームの紙に書いて申し込みます。参加費は 100 ルピー。ボランティア全員でチャーターバスに乗っていきました)なお、写真撮影は禁止でした。
- 患者さんが優しく「ナマスター」と声をかけてくださいました。施設で使われているシーツ等の布類がここで作られていることもわかりました。
- 施設は線路の向こう側にあり(線路をみんなで横断しました!!)、「隔離」というイメージを受けました。日本でも同じようなことをしてきた歴史があるので、少しずつ病気に対する間違った知識が消えていけばいいなと思いました。

ホームステイ先からボランティア施設までの交通手段は？

- ステイ先→徒歩(10分)→Bangur(バス停)→221・223・227のバス(40~60分)→Mother House→45Bのバス→Kalighat(バス停)→徒歩(10分)→Kalighat(施設)
- Kalighat(施設)→Kalighat(地下鉄駅)→地下鉄(Dum Dum 行き 5 駅)→Park Street(地下鉄駅)→さだるストリート周辺でお昼・観光→Park Street(地下鉄駅)→地下鉄(Dum Dum 行き 8 駅)→Belgacha(地下鉄駅)→バス停→バス→Bangur(バス停)→徒歩(10分)→ステイ先
- このほかの行き方、帰り方もあります(ここにのせているものの組み合わせでいろんな方法があります)

Cultural activities に関して *受講された項目のお値段、感想をお聞かせ下さい。

英会話レッスン

- 無料(滞在費用に含まれる)

- 私の家には Kallol 氏の妹の友達 Dip 先生が来てくれていました。家庭教師が仕事とのことで、日本人は私の Host Family のところに来る人だけを教えているとのこと。私の英語力が poor だということとにかくしゃべることをした方がいいと言って、30～45 分間、週 6 回会話を中心とした lesson となりました。最初は話すネタが尽きたりして苦痛でしたが、最後の週は時間が足りなくなる時もありました。
- とても優しくインドのこと、自分の家族のこと様々なことを教えてくれました。
- 遅れてくることが多く(来るといった時間に来ないことが多く)、それで Host Mother がいつ私に夕食を提供すればいいのかわからないことがありました(Lesson の後に夕飯だったため)。ホスト家の電話番号は知っているようだったので、連絡を入れてくれればいいのかと思いました。
- あまり日本には興味がないようでした。

ベンガル語レッスン

Dip 先生にボランティアで役に立ちそうな表現を聞いていました。親切に教えてくれました。患者さんの中にはベンガル語しかしゃべれない人も多かったので、助かりました。

YOGA

Indian Cooking

Bollywood Movie

1 回 200 ルピー。カロールさんがショッピングモールのシネコンに連れて行ってくださいました。「kai po che」という映画を見ました。言葉がよくわからなかったけど、カロールさんにはじめの場面の解説をしてもらって、話がわかりました。おもしろかったし、宗教について考えさせられる映画でした。

持ち物に関して

日本より用意し、役に立ったものは？

携帯用蚊取り線香(よく効きました)・殺菌効果のあるウェットティッシュ・おしりふき(下痢のときに役立ちました)・レトルトのおかゆ・電子辞書

その他、便利だと思うものは？

手ピカジェル(私は現地のを購入しましたが、気になる人は)・薬用のハンドソープやボディソープ(感染症対策に!! 現地のスーパーでは石鹸しか見つかりませんでした)・サンダル(家用と外用は持って行ったが、ボランティア施設用がもう一足欲しかった。現地でもたくさん売っていましたが、自分に合ったものが見つかりませんでした)

コルカタ市に関して

お勧めの観光スポット、お店、レストラン等があればお知らせ下さい。

セント・ポール教会…ステンドグラスのきれいに圧倒されました

JoJo…サダルから通りを少し入ったところにあるレストラン。食事をすると無料 Wi-Fi が使えます!! Music World…Oxford 付近、Park Street の反対側にある CD ショップ。CD・DVD のほか、置物なども売っていました。

サダル・ストリート・カフェ…露店ですが、安全な現地のチャイが飲めます。

反対にお勧めできない場所等があればその理由もお知らせ下さい。

New Market…私はあまり感じませんでした、友達は客引きが多くて疲れると言っていました。サダル・ストリートには、日本人女性を狙って自分に貢がせる男がいると噂になっていました。被害にあっていると気付かせないようにするのが手口ようです。実際、CECの人ではありませんが日本人女性がすごい勢いでお金を使っていて、日本人が忠告しても耳を貸さなかったそうです。もちろんサダルのインド人はそんな人ばかりではありませんが、Chai を飲もう、ラッシーを飲もうなどと言ってくる人にはきっぱりと断ることをお勧めします。

コルカタ以外の街を訪れた方は下記の質問にお答えください。

どちらに行かれましたか？

ずっとボランティアに行っていたので、行っていません。

交通手段、かかった時間、費用は？

感想

ご参加頂いた時期に関して

気候、お天気はどうでしたか？

毎日晴天。雨具一切必要なしでした。

シャワーも最初の週を除き、水で十分でした。

服装は？

長袖 or 半袖のTシャツとズボンでした。靴はサンダルで十分です。

インドの物価に関して

ご参加時のレートは？ 1ルピー＝約（1.8）円

何か購入されたものがあれば参考までお知らせ下さい。

（例：ミネラルウォーター1L 12ルピー（約32円）、焼き飯30ルピー（約80円）等。。）

ボトルウォーター…1L15～17ルピー、2L25～27ルピー(メーカーによって違いました。)

ビスケット…1つ10ルピー～80ルピー(これもメーカーやフレーバーにより様々)

布…1m80～140ルピー(激安!!)

ズボン130ルピー(現地でパジャマにしていました)

ストール…3枚で900ルピー(カシミア60%と言われましたが…)

チャイ…1杯5ルピー(露店のもの。店によって味は様々。)

ラッシー1杯17ルピー(現地で会った日本人が教えてくれました。レストランのものより濃くておいしかった)

予防接種に関して

渡航にあたり予防接種を受けましたか？ はい

はいの方、その種類をお知らせ下さい。

A型肝炎(2回)・B型肝炎(2回)・破傷風・日本脳炎

狂犬病も受けたかったのですが、近所の病院では短期滞在では受けられないといわれました。

また、破傷風・日本脳炎は自分の場合は大丈夫とのことでしたが、強化のために打ちました。

その他、今後の参加者に何かアドバイスがあればご記入下さい。又、ご自身がインドで撮られた写真など、お貼り頂き、写真の説明文も加えて下さい。

- 「楽しいだけじゃない旅」だったのがすごくよかったです。インドと言う国そのもの・貧困・宗教・カースト・ボランティアのあり方・つたない英語とベンガリでのコミュニケーション・自分のあり方…いろんなことを考えながら過ごした3週間でした。
- インドはまだまだ「裕福な国から来た旅行者」である私たちにとっては危険もある国です。コルカタはそう治安の悪いところではありませんでしたが、ぼったくられた話はずいぶんいろんな旅人から聞きました。知らないうちにトラブルに巻き込まれることもあるようです。私はその話を聞きながら、CECさんのプログラムでよかったということを感じました。ツアーよりも適度に自由歩きができて、完全な一人旅より安全な場所と食事が確保されているこのプログラムは、海外初心者の私にはありがたいものでした。
- CECの皆さん、Kallolさん、ホストファミリーのご夫婦には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。インドにはまた行きたいです。その時はよろしくお願いします。



- ホストファミリーと。お父さんは毎日朝早く出かける私を送り出してくれました(Thaiを入れてくれた)。お母さんのカレーは美味しかったです。お土産までいただきました。感謝してもしきれない!!(Thank you.としか言えない自分が情けなかった…)



- Kallolさんが、その週に参加したCECメンバーを連れて、飲み連れて行ってくださいました。キングフィッシャーのビールは日本のものより飲みやすく、ごくごく飲んでしまいました笑 ほかにもいっぱい取りましたが、続きはぜひ、ご自分で撮ってきてください☆

最後に、あなたのことをお知らせ下さい。

お名前(イニシャル、ニックネーム可)	Rainbow	女性
年齢	20代	

インドマザーテレサボランティアとホームステイプログラム

参加期間

2013 年 2 月 4日～ 3 月 4 日 4 週間

参加動機

自分が変わるようなきっかけがほしかったから。
旅人の人から話を聞いていて、興味があったから。

ホームステイ滞在に関して

家族構成	お父さん お母さん 子供 (1) 人 その他 (母方の祖母)
ペット	有 () (無)
食事	非常においしかった おいしかった (普通) おいしくなかった 食べられなかった
生活形態 (日本での生活と較べて異なる点、注意点など)	
洗濯機がある家だったので、一緒に洗ってもらっていました。何不自由なく過ごすことができました。強いて言えば、シャワーのお湯がほとんど出なかったことと、朝、お手伝いさんが部屋に掃除をしに入ってくるぐらいです。あと夜は毎日カレーかカレー味の煮込み料理のようなものでした。体調崩したとき、カレーの匂いと油っぽい感じがすこしきつかったです。体調を崩したとき、気軽に食べられるものを日本から持参しておくとも良いかもしれません。(レトルトのおかゆなど)	
感想	
お父さんは、面白い方で、お母さんはよく気遣ってくれる方でした。息子さんはクールな学生でした。アットホームな感じで、プライベートも守ってくれます。食事日本人に合うようスパイスが強くないカレーを作ってくれました。暇な時間ができてくるので、本を持っていくことをおすすめします。	

ボランティア活動に関して

カリガート (死を待つ人々の家) プレムダン (病気や精神障害のある患者)
シャンティダン (子供、精神障害者) ナポジボン (知的障害者) (ダヤダン (健全者、障害者))
シシュババン (健全孤児院、又は障害孤児院) シシュババンハウラー (孤児、重病の女性の家)
活動内容と感想 (活動期間、回数、時間等も併せてご記入下さい。)
時間帯は8時から12時です。活動場所はダヤダンのみです。体調を崩していけなかった2日間を除けば、毎日、午前中の活動に参加していました。活動としては、①子供をベッドからエクササイズルームに連れて行く。②子供のメディテーションかベッドメイキングか洗濯物に分かれます。③子供のエクササイズやマッサージ④食事介護 という流れです。洗濯物はだいたいティータイムまで永遠と洗濯物です。ただ外人さんと話したりはしやすいですね。ダヤダンでは、長年ボランティアをされている女性の方がいます。時々、日本人が多くなると、皆、その方の言うことを聞いて動くので、現地の職員のやり方とは違う事をしていました。そうした時、文化の違いによる衝突のせいか雰囲気が悪くなることがありました。このダヤダンで外国の方と共に働くことの楽しさを知りま

した。文化の違う場所で働く難しさを知りました。一番何が大事なのか知りました。
次に参加される方は、ボランティアは誰のために何のためにするのか考えて行動してみてください。
最初は正直、ただの足でまといです。職員たちも毎日同じことを言わなければならないので、飽き飽きしています。ボランティアとして自分から動けるようになったのは、私の場合、1週間を過ぎてからだったように思います。せっかくの海外で働く機会です。精一杯、楽しんで働きましょう！

ホームステイ先からボランティア施設までの交通手段は？

徒歩 10 分

Cultural activities に関して

*受講された項目のお値段、感想をお聞かせ下さい。

英会話レッスン

英会話というより止めどなく話されたので、リスニングに近かったです。

ベンガル語レッスン

YOGA

Indian Cooking

Bollywood Movie

200 ルピー。Abcd (any bony can dance) という映画を見ました。ダンス映画なのですが、あまりのおもしろさに魅了されました。Bollywood Movie はシンプルな構成になっていて、言語が分からなくても楽しめますよ！

持ち物に関して

日本より用意し、役に立ったものは？

クロックス 2 つ (足先が守れます)。スポーツドリンクの粉 (長期の人は少し多めにあるといいかも。自分の場合 1 リットル用 5 袋)。のど飴。除菌効果付きのウェットティッシュ。水に流せるティッシュ。ワンプッシュ式の蚊取り。目薬。痛み止め (親知らずがきつかったから)。整腸剤、下熱・鎮痛剤、抗生物質。(医者に処方してもらったものは効きました)

その他、便利だと思うものは？

長袖シャツ (気温調節がしやすい)、カーゴパンツ (ポケットを重宝した)、パーカー (寒い時に助かった) 番号合わせ式のロック (鍵はなくすと大変)。ワンデイ用の洗剤 (100 均にあります) パスポートやビザなどのコピー。小さなメモ帳。ショルダーバック (重宝します)

コルカタ市に関して

お勧めの観光スポット、お店、レストラン等があればお知らせ下さい。

- ①Belgathia Ghaina Temple(綺麗で静かな場所です。)Belgathia 駅から徒歩 5 分
- ②LAL BAZAL Street (紅茶の量り売りのお店が多くあります。)
- ③FAB India (おしゃれなお店) RABINDRA SADAN という駅から FORUM (フォーラム) というショッピングセンターに向かいます。その近くなので、インド人に駅に着いたら FORUM はどこ? って聞けば着けます。駅から徒歩 5 分
- ④ダクシナーバン・ショッピング・コンプレックス サリーなどたくさんの女性用の服があります。女性は楽しいかも。
- ⑤JOJOs (Wifi が使えるレストラン) サダルストリートにあります。
- ⑥歩いてください。たくさんのドラマに会えます。これが一番おすすめ。

反対にお勧めできない場所等があればその理由もお知らせ下さい。

インド博物館 全く面白くなかったです。

コルカタ以外の街を訪れた方は下記の質問にお答えください。

どちらに行かれましたか？

アンダマン諸島 (ポートブレア、ハブロック、ニール)

交通手段、かかった時間、費用は？

飛行機で約 2 時間。往復 6000 ルピー (12000 円)。手配してもらったので、手数料 400 ルピー。
7 泊 8 日間で 13000 ルピーで過ごしました。
合計で約 2 万ルピー。

感想

のんびりとしていて、とてもすごしやすかったです。特に NEIL Island はおすすめ。人が少なく、ご飯は安くて旨いです。(島なので元々少し元値はあがります)
本当に人の優しさに触れ、癒される旅でした。日本の沖縄のようなところですが、そこに住んでいる人達はインド人です。観光客は欧米系で、アジア系は 1 組しか見ませんでした。国は関係なく、みんなの距離が近くて、仲良くなれる場所だと思いました。私の場合は、行きつけのお店ばかり行って、そこでずっと話してました。島ならではのものもあるので、よかったです。
コルカタ、チェンナイからしか直行便が出ていません。もっとりしたい方は、ぜひ行ってみましょう。

ご参加頂いた時期に関して

気候、お天気はどうでしたか？

2 月 17 日だけ雨が降りました。それが今年初だそうです。2 月上旬は昼間は暑いけれど、夜は寒かったです。徐々に気温が上がっていくのを感じられるぐらい、気温が上がるの早いです。カラッとしていたので、夜は過ごしやすかったですね。ただ、2 月頃の水シャワーは気合いが良かったです。

服装は？

昼間はTシャツ。夜はパーカーを着て寝ていました。

最低限（2日分）ぐらい持って行って、現地で買うほうが面白いと思います。

カーゴパンツは役に立ちますが、日がないとこだと乾きません。できるだけ乾きやすく、最終的に寄付などできる（いらぬ服）を持っていくことをおすすめします。

インドの物価に関して

ご参加時のレートは？	1ルピー＝約（ 2 ）円
何か購入されたものがあれば参考までお知らせ下さい。 （例：ミネラルウォーター1L 12ルピー（約32円）、焼き飯30ルピー（約80円）等。。）	
①ミネラルウォーター1ℓ 18ルピー 2ℓ 25～28ルピー	
②トイレットペーパー4本入り 180ルピー	
③DOVE（シャンプー） 139ルピー	
④バス 5～10ルピー（距離による）	
⑤プリペイドタクシー（空港からDUMDUM駅まで）140ルピー	
⑥エッグロール 18ルピー（これ1つで満腹、チキンのが断然美味しい）	
⑦スタバみたいなどで買ったLARGEサイズの キャラメルカプチーノ 250ルピー（インドで買ったもの最高値）	

予防接種に関して

渡航にあたり予防接種を受けましたか？	はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
はいの方、その種類をお知らせ下さい。	

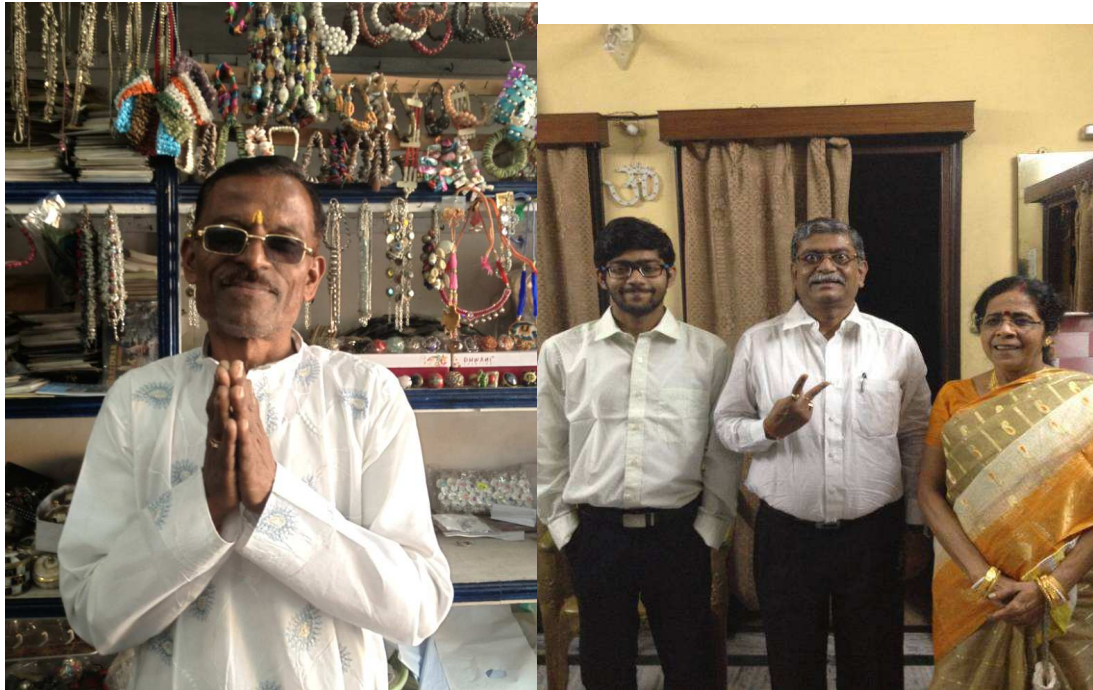
その他、今後の参加者に何かアドバイスがあればご記入下さい。又、ご自身がインドで撮られた写真など、お貼り頂き、写真の説明文も加えて下さい。

インド40日間の生活の中で、今まで非日常だった世界が日常となり、当たり前だった世界が特別な環境に思えるようになりました。価値観が変わりました。日本への見方が変わりました。やりたい事が増えました。なにより自分自身が少し前進できたように思います。

恐い噂が絶えないインド。でも、それ以上に魅力に包まれた国です。

きっとかけがえのない経験ができると思います。

少なくとも、私は行って本当に良かったと思っています。



ナマステー、この商売上手め（笑）

ホームステイ先の家族、ファンキーなお父さん
クールな息子さん（20歳）見えない・・・
優しいお母さん

最後に、あなたのことをお知らせ下さい。

お名前(イニシャル、ニックネーム可)	SOHI	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
年齢	10代 <input checked="" type="radio"/> 20代 <input type="radio"/> 30代 <input type="radio"/> 40代 <input type="radio"/> 50代 <input type="radio"/> 60代以上	

インドマザーテレサボランティアとホームステイプログラム

参加期間

2012年11月6日～12月4日 4週間

参加動機

マザーテレサに興味があった。将来就きたい職業に活かす為に海外の子ども達の様子を知りたかったから。

ホームステイ滞在に関して

家族構成	お父さん お母さん その他（娘夫婦とお孫さんがよく遊びに来ていた）
ペット	無
食事	おいしかった
生活形態（日本での生活と較べて異なる点、注意点など）	夜ご飯は20時位に用意してくれましたが、ファミリーは22時位に食べるそうです。夕方においしい紅茶とお菓子を出してくれます。辛いものが苦手なのを伝えるとノンスパイシーカレーを作ってくれました。シャワーとトイレが一緒になっていて、私の家は水しか出ないシャワーでしたが一度風邪をひいてからは電熱器を用意してくれました。お手伝いさんが何人か居て出入りするの部屋に物を出しっぱなしにするのはよくないです。割と蚊が多いので虫除けスプレーや殺虫剤を持っていく方が良いです。
感想	老夫婦が私のホストファミリーでしたが、とても優しく親切でした。ご飯の時間や起床時刻は全て私に聞いて、合わせてくれていました。不便なこともありましたが、何日かすると慣れて自分の生活スタイルができてきます。毎日カレーなのはちょっと飽きちゃいました(笑)

ボランティア活動に関して

カリガート（死を待つ人々の家） シシュババン（障害孤児院）
活動内容と感想（活動期間、回数、時間等も併せてご記入下さい。）
カリガート(一日だけ・午後)：洗濯・洗濯物干し・夕食の配布・食器洗い 余った時間はお婆ちゃん達の相手をします。マッサージや衣服交換のお手伝いなどをしますが、精神的な障害を持った方も多く意思疎通が難しいことも。ただ、思っていたより入所しているお婆ちゃん達が元気でご飯もよく食べるし喧嘩をしている姿も見かけました。施設は8月に新しくなったらしく、清潔感もありました。治療側に携わるとうじ虫を取ったりすることもあるみたいです。行く日によって現場の雰囲気が変わると思います。(重症の方が多いかどうか) シシュババン(3週間・午前)：子どもと遊ぶ・オムツ換え・おやつとご飯を食べさせる 私が行ったのは障害孤児の方で20人位の3歳～16歳の子ども達がいました。10代の子といっても見た目は7歳位です。脳に障害を持った子が多くほとんどの子が歩くことや喋ることができません。中には盲目の子もいます。始めはそんな子ども達相手にどう遊んだらいいかわからず、戸惑っていましたが、子供達は何かアクションをすると笑ってくれてとても可愛いです。ご飯を食

べるのが嫌いな子が多く途中で泣いてしまう子も多くいたのですが、ボランティアがおろおろしているとマーシー達（現場で働くインド人の女性）が代わりに食べさせてくれます。でも、それがあまりに無理やり過ぎてそれでいいのかなと疑問を感じることもありました。でも仕方のないことなのかもしれません。毎日子ども達と会っていると自然と愛着が湧いてきてボランティアが最終日は離れるのが寂しかったです。障害のある子もない子も可愛さは変わらないです。

ホームステイ先からボランティア施設までの交通手段は？

カリガート

バス停まで徒歩(10分)→バス(10分)→地下鉄ベルガチア駅からカリガート駅(20分)→
→徒歩(10分)→カリガート

シシュババン

バス停まで徒歩(10分)→バス(45分)→マザーハウス→徒歩(5分)→シシュババン

Cultural activities に関して

*受講された項目のお値段、感想をお聞かせ下さい。

英会話レッスン

ベンガル語レッスン

ホームステイ先のお父さんが教えてくれました。英語で説明してくれます。簡単な挨拶や数字などを教えてもらいました。また、ボランティア先で使えるような言葉を教えてもらい、少しだけですが活かすことができました。

YOGA

ストレッチと瞑想たまに筋トレという感じです。想像していたより簡単で体がすごく硬い私でもなんとかできました。(1回 100 ルピー)

Indian Cooking

Bollywood Movie

ヒンディー語は全くわかりませんが、話の内容はだいたいわかりました。私は学園モノを観たのですが歌って踊って賑やかでとても楽しい作品でした。(1回 250 ルピー)

持ち物に関して

日本より用意し、役に立ったものは？

スリッパ2足（部屋履き用とバスルーム用）、ウェットティッシュ、手指消毒ジェル、アイボン
水に流せるポケットティッシュ、携帯用ポット(毎朝ホットタオルを作って顔を拭いていた)、ムヒ
その他、便利だと思うものは？

目薬・マスク・うがい薬（粉塵がすごいので） ポカリスエットの粉

常備薬（頭痛・生理痛薬や咳・鼻水止め、胃薬）

私は3週目から咳と鼻水が止まらなくなりました。食あたりに関しては日本の薬は役に立ちません。カロールに相談して現地で薬を買うのが一番良いと思います。

コルカタ市に関して

お勧めの観光スポット、お店、レストラン等があればお知らせ下さい。

ドッキネシヨル寺院、ビルラー寺院、joj's カフェ(Wi-Fi 無料・サダルストリートにある)、シティーセンター(日本のショッピングモールみたいな感じ)、pantaloon(日用品と食品が買える清潔感のあるデパート)

いろんな所に行きましたがコルカタはコルカタの町並みや住んでいる人々を見るのが一番おもしろいです！

反対にお勧めできない場所等があればその理由もお知らせ下さい。

ナコーダマスジット(周辺が危ないので一人で行くのをファミリーに止められた)

カーリー寺院(中があまり綺麗ではなく、裸足で歩くのが嫌だった。頼みもしていないのにインド人が勝手に案内してきて 10 ルピー要求された。断ったが謎の祈祷をされた場合は 1000 ルピー要求されることもある。裸足が大丈夫で断る勇気があれば行ってみる価値はあると思います。)

ネルチルドレン博物館 (世界中の人形が展示してあるだけ)

コルカタ以外の街を訪れた方は下記の質問にお答えください。

どちらに行かれましたか？

サールナート、バラナシ、アグラ、ジャイプール、デリー (4泊5日)

交通手段、かかった時間、費用は？

オプションツアーに申し込んだので 10 万円

(電車代、航空機代、車代、ホテル代、ガイド代、飲食代、入場料代込みでツアー中にこちらが払うことはほとんどありませんでした。)

感想

カロールと 2 人の旅でしたが、行く先々に現地のガイドさん、運転手さんがいてお嬢様気分でした(笑)カロールが詳しくガイドしてくれるし、美味しいご飯を食べさせてくれるのでとても安全で快適なツアーでした。私はジャイプールを追加してツアーを組んでもらったのですが、個人的にジャイプールは綺麗で素敵な街なのでオススメです。バラナシでは夜と朝、2つの顔のガンジス河を見ることができました。ボートから見るガンジス河の日の出は幻想的で感動！

ご参加頂いた時期に関して

気候、お天気はどうでしたか？

雨は一回も降りませんでした。日中は日差しがキツイですが、朝は少し肌寒いので一枚羽織るものがいい。デリーやアグラの朝は結構寒かったです。

服装は？

半袖 or 長袖 + サルエルパンツ

スウェット生地のもは乾くのに時間がかかるのであまりオススメしません。

インドの物価に関して

ご参加時のレートは？ 1 ルピー = 約 (1.6) 円

何か購入されたものがあれば参考までお知らせ下さい。

(例：ミネラルウォーター 1L 12 ルピー (約 32 円)、焼き飯 30 ルピー (約 80 円) 等。)

ミネラルウォーター 1L 16 ルピー
サルエルパンツ 180 ルピー
シャンプー 120 ルピー
紅茶のパック（お土産用）120 ルピー
ご飯 60 ルピー～120 ルピー
乗り物代 5～7 ルピー
サリー 1000 ルピー～2000 ルピー

予防接種に関して

渡航にあたり予防接種を受けましたか？	はい
はいの方、その種類をお知らせ下さい。	
A型肝炎（在庫がなくて断られた病院もあったので早めに受けた方が良い）	

初海外で初インド。コルカタ空港に降り立った瞬間からカルチャーショックの嵐でした。騒音、排気ガス、危険な運転、渋滞、ゴミだらけの道、異臭...最初はビックリしましたが、一週間程すれば気にもなくなってきました。ツアーで何箇所か回りましたがコルカタが色んな意味で一番すごいです。まさに混沌という言葉が似合う街です。だからこそ一番おもしろい街でもありました。物乞い、道で洗濯や体を洗う人、チャイを飲む人、貧しい人から裕福な人まで色んな人々がごちゃごちゃに生活している空間で、街を少し歩くだけでも色んな発見があります。不便で汚いけれど、それもまた文化なのかなと感じました。日本人だとわかると詐欺目的のインド人に毎日声をかけられます。でも絶対に仲良くならないでください。カロルの言うことを守っていれば何も困ることはありません。それだけ注意してコルカタの街を歩いてみてください。本当に飽きさせることのない街です。

私は4日間程入院してしまいました。チキンロールを食べたのが原因のようですが、スパイシーフードが苦手なのに頑張って食べたり慣れない料理で胃が弱っていたのもあるみたいです。発症してからは地獄でした。お腹に自信がない人は気をつけてください。保険は絶対！！

入院などの世話はカロルが全てしてくれました。本当に感謝の言葉しかありません。ホストファミリーにも迷惑をかけてしまって申し訳ない気持ちでいっぱいでした。でも、将来医療の道に行く私にとって海外で入院というのは良い経験になりました。(笑)

一ヶ月間、長いようであつという間でした。日本に帰ってくるともう一度インドに行きたい、子ども達に会いたいという気持ちになります。体調を崩したりいろいろありましたが、カロルが優しく本当に頼りになります。現地で出会った日本人、外国人にも助けられて、楽しい旅にすることができました。感謝の気持ちを多く味わえたツアーだったと思います。ありがとうございました。



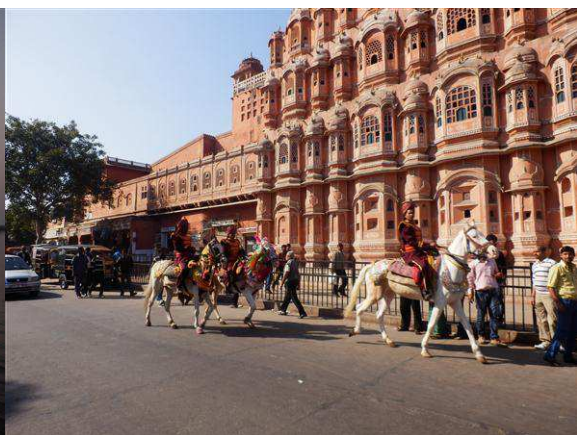
ガンジス河で沐浴をする人々



サダルストリートに向かう道で



ガンジス河の日の出



風の宮殿（ジャイプール）

その他、今後の参加者に何かアドバイスがあればご記入下さい。又、ご自身がインドで撮られた写真など、お貼り頂き、写真の説明文も加えて下さい。
最後に、あなたのことをお知らせ下さい。

お名前(イニシャル、ニックネーム可)	R・N	女性
年齢	20代	